

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所 ほほ笑み		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 14日 ～ 令和7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日 ～ 令和7年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	屋外活動を中心にし、気持ちの解放や体力向上を目指した活動を行っている。	天気の良い日には近隣の公園に出かけて歩くことやコンビネーション遊具を使って体を動かす時間を設けている。個別活動の他、ボールを使ってルールのある集団遊び等を行っている。森林では自然に触れながら起伏のあるコースを歩くなどの取り組みを行っている。	安全に活動できる職員体制作りや安全管理マニュアルの徹底。外出先の工夫、個々の興味や体力に合わせた活動を提供していく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設設備の老朽化。	古い木造建築の建物であるため、バリアフリー構造になっていない。	常に安全点検を行い、修繕や改修に努める。
2	地域住民との交流が少ない。	コロナ禍以降、地域住民との積極的な交流は行っていない。昨年度は畑作り活動や公園での地域の子どもたちとの交流があったが、今年度は行えていない。	地域住民との積極的な交流ではないが、事業所周辺の清掃活動や町内会活動に加わるなど、事業所への理解を求めていきたい。
3	保護者間の交流が少ない。	かつては保護者が集う行事や夏祭りで交流していたが、コロナ禍以降、行っていない。現在、子育ての悩みや進路について、保護者同士で意見交換をしたいという希望が出ている。	保護者が集って、情報交換をしたり、卒業生の保護者を招いて体験を聞くなどの企画を検討していく。